



広報

よもぎた



2002 No. 312



福は内・鬼は外 春を呼ぶ豆まき

CONTENTS

- 消防団初午祭
- 村及び村教育委員会表彰式
- カメラアイ
- 川柳北緯41
- 中学校教師海外研修に参加して
- お知らせ情報局
- 健康情報便
- 児童川柳
- 行事予定表
- 戸籍の窓口

防災の決意を新たに

はつ 初 午 祭



2月7日(木)、村消防団(八幡敏雄団長)は今年一年の無災害を祈念して、初午祭(出初式)を行いました。

午前7時30分、サイレンの合図で団員は村内8分団から出動、農協米倉庫南側に130名が集合しました。そして直ちに出動人員を報告し、殉職消防団員に黙とうを捧げました。

引き続き、古川正隆村長、成田義敬蟹田警察署長、清水信造村議会議長、神山久志県議会議員から姿勢・服装の検閲を受けました。

団員は、寒さをものともせず、来賓、住民が見守る中、米倉庫前から役場前まで堂々と分列行進をし、士気を高めました。

役場前では機械・器具の点検が行われ、係員がきびきびした動作で点検、異常ないことを報告しました。

吉田初男前団長より「優良」と講評され、八幡敏雄団長から「今年も無火災を目指し、一致団結して今まで以上にがんばってください。」と訓辞がありました。

古川村長は「日ごろから

の防災活動に敬意と感謝を申し上げます。村民を災害から守るため今後ますます精進してください。」とあいさつがありました。

昨年一年間の出動状況が良好で機械・器具等の管理が模範と認められた第二分団(長科)を優良表彰し、最後に消防自動車で村内をパレードし、初午祭を終了しました。



受賞おめでとうございます

平成13年度村及び村教育委員会表彰式



1月21日(月)、平成13年度の自治功労表彰と教育表彰が村ふるさと総合センターで行われました。

本年度の村功労表彰には長年、政治・経済・社会・各般にわたって活躍された7人と善行表彰1人。また、村教育委員会表彰には、芸術・文化・スポーツなどの分野で功績のあった8人と1団体がそれぞれ受賞しました。

受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

村表 彰

【功労表彰】

▼坂本 登(瀬辺地)

○村農業委員会々々長、自治会役員及び村交通安全協会々々長として地方自治の振興と民生安定に多大の貢献。

▼川崎 君弘(広 瀬)
○長年にわたり、村消防団分団長及び自治会長として地方自治の振興と民生安定に多大の貢献。

▼大宮 正志(郷 沢)
○長年にわたり、村体育協会指導員及び村体育協会役員として本村スポーツ振興に多大の貢献。

▼森 謙一(阿弥陀川)
○長年にわたり、お菓子作りと改良に専念し本村の銘菓として村内外に名を知らしめた功績。

▼木戸 愛子(青 森 市)
○長年にわたり、学校医として本村児童生徒の保健衛生の向上に多大の貢献。

▼村上江み子(長 科)
○長年にわたり、村食生活改善推進員会々々長及び村社会福祉協議会評議委員として住民の健康増進と福祉の向上に多大の貢献。

▼吉田 俊雄(中 沢)
○長年にわたり、村消防団

及び中沢地区農事振興組合長として民生安定と農事振興に多大の貢献。

【善行表彰】

▼森 繁(阿弥陀川)

○社会福祉事業の重要性を深く認識し、村社会福祉協議会に多額の金圓を寄付。

村教育委員会表彰

【スポーツ賞】

▼坂本 恭一(長 科)

○第32回明治神宮野球大会大学の部4強入り、クリーナップとして健闘。

▼村体育協会卓球部

○第56回県民体育大会卓球団体の部、第3位。

▼大宮 俊彦(郷 沢)

○全国高校選抜卓球大会男子シングル優勝。

▼八戸 太智(阿弥陀川)

○第25回全国高校選抜フェンシング大会団体の部、準優勝。

▼森 達也(阿弥陀川)

○第39回東北高校フェンシング選手権大会団体の部、第3位。



▼越田 裕介(阿弥陀川)

○全国高校総合体育大会フェンシング団体の部、優勝。

▼石田 明信(広 瀬)

○県中学校新人陸上競技選手権大会2年男子走高跳、第2位。

【芸術・文化賞】

▼小鹿 徳之(長 科)

○JA共済県小・中学校交通安全ポスターコンクール最優秀賞。

▼細谷 桃子(阿弥陀川)

○全国中学生・人権作文コンテスト優秀賞。

カメラ アイ



蓬田中学校2年連続JICA エッセイコンテスト学校賞に

「JICA中学生エッセイコンテスト2001」で蓬田中学校が2年連続、学校賞を受賞しました。また、木村直子さん（3年）が東北支部長賞に、高田美郷さん（3年）、山本陽子さん（2年）が青年海外協力協会会長賞に入賞しました。

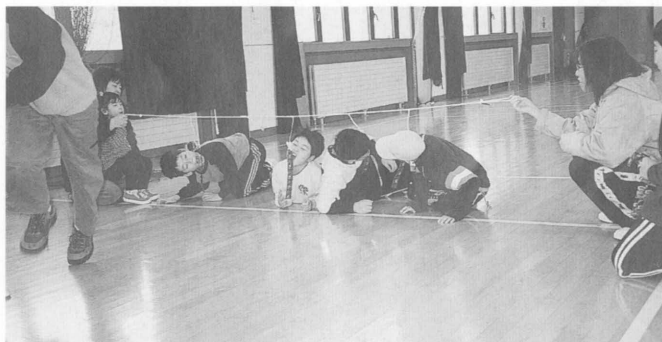


写真の右から
山本陽子さん（2年）
高田美郷さん（3年）
木村直子さん（3年）
太田裕美先生

「JICA中学生エッセイコンテスト」は、途上国や国際協力、国際理解について考えることをテーマにした作文コンクールで、今年度は全国から12,042点の応募がありました。表彰式は、3月9日（土）青森市で行われます。

また、2月1日（金）2日（土）に仙台市で行われた「平成13年度開発教育指導者研修会」で、これまで行われた蓬田中学校の国際理解教育、国際協力にかかわる取り組みが、実践事例として青森県を代表し報告されました。

子ども会冬期スポーツ大会



2月10日（日）、農業者トレーニングセンターにおいて村子ども会冬期スポーツ大会が行われました。これは健康づくり推進事業の一環として、スポーツやゲームをとおして健全な精神と身体の育成を図るとともに、各地区子ども会との交流と親睦を図る目的で毎年開かれています。

今回は子どもと育成者、合わせて60名が集まり、坂本勇一会長の手作り用具でゲームに汗を流しました。今年度の村子ども会行事は今回で終わりですが、平成14年度からは学校週5日制がスタートすることもあり、子供会活動のますますの充実を目指しています。

牛に耳標を装着



狂牛病緊急対策の一環で、牛の移動状況を把握するため牛の耳に標識（耳標）を取り付ける作業が1月21日（月）、村内の全ての牛（乳用牛54頭、黒毛和種77頭の計131頭）を対象に行われました。

当日は、村営牧場を最初に10農家を県・JA東つがる・役場の職員が訪れ、捕定器につないだ牛の両耳に、個体識別番号を印字した耳標を専用器具で取り付けました。

これにより出産から流通まで全頭管理する体制が整い、確実に安全な牛だと証明でき、そして消費者の信頼回復につながると期待されています。

まめで元気で…お年寄りと豆まき交流

1月28日（月）と2月4日（月）の両日、保育所の児童36人による豆まきがよもぎ温泉でおこなわれました。

温泉には老人クラブの会員が週に一度の入浴日とあって、たくさん集まっており、最初に児童による元気な踊りを披露すると、お年寄りも大喜びでした。

続いて、大きな赤鬼が登場すると泣き出す児童もいましたが、鬼に向かって、「鬼は外、福は内」と大きな掛け声で力いっぱい豆をぶつけていました。



献血協力に感謝



2月4日（月）、県赤十字血液センターの巡回車が村を訪れ、役場前と蓬田紳装前で献血を行いました。

今回行った献血は村内外47人（200mlが24人、400mlが23人）の皆さんにより、ご協力をいただきました。

善意の献血ありがとうございました。

次回は、6月6日（木）に行う予定です。



- 鬼になり愛のムチ振り子を育て
- 愛ちゃんに肖あやってほしい過疎の村
- 大鍋のけの汁母の愛も煮る
- 何時の世も愛が育む夫婦仲
- 目に涙愛を貫く娘の巣立ち

瓢 昭 清 重 悦
一 夫 乃 彦 子

- 恋女房中年太りで愛もさめ
- 愛している一言ほしい古稀の春
- もみじの手愛をつかめと母願う
- 年輪の形で夫婦アイラブユー
- 空爆を愛に替えたいアフガンも

樫 勝 和 藤 千
吾 子 也 久 恵 子



省エネを心がけましょう
（財）東北電気保安協会

中学校教師海外研修に 参加して

蓬田中学校
教諭 太田 裕美



平成13年8月1日～11日まで、JICA（国際協力事業団）主催の中学校教師海外研修に参加させていただきました。訪問国はアフリカのザンビアだ。香港、南アフリカのヨハネスバーグで乗り換え、日本を出発してから26時間後、首都のルサカに着いた。意外にもザンビアは、日本との関係が深い国なのだ。日本の十円硬貨に使われている銅のほとんどは、ザンビアからの輸入に頼っている。

青年海外協力隊員の配属先やプロジェクト技術協力の現場を訪問させていただいたことで、人的援助がいかに大切かということを痛切に感じた。ここで、私が特に印象に残った訪問先を二カ所紹介したい。現在、ザンビアでは成人人口の20%がエイズHIVウイルスに感染しているといわれている。ジンバブエとの国境の町チルドゥでは、アメリカのNGO「ワールド・ビジョン」がHIV啓発活動を行っており、その活動の有効性を認めたJICAが協力を行っている。



トラックドライバーにHIVの啓発活動をしている少女

ザンビア人の少女少女が、輸入品を運んで入国して行くドライバーを実際にトラックに訪ね、啓発活動を行っているところを間近に見ることができた。それだけではなく、私たちも一緒に啓発活動を行ったことが印象深い。実際に体験することがその活動を知る一番の方法だと、改めて感じた。その後のコマースシャルセックスワーカー（売春婦）との懇談も貴重な経験だった。ここまで重く生々しい部分まで見せていただけるとは思っていなかった。参加者一同、かなりのショックを受けた。次にプライマリーヘルスケアプロジェクト（住民の保健水準の向上）の現場では、自信に満ちた住民が現場を案内してくれた。JICA指導を受け、住民が自分たちの手でやっている乳幼児の予防接種や体重測定、日本の援助で作られた水道の管理、排水溝の整備などの現場を見せていただいた。ただ、資金や技術を提供するだけではなく、自信と誇りを持たせることが、住民主体の活動につながるということ、いかに住民と話し合うことが大切かということを知った。

協力隊員の方々が想像以上に過酷な環境の中で、地域の人々と同じ目線で生活を共にし、一緒に活動している姿には本当に感動した。また、専門家の方々も、地道な努力を重ね、住民から絶大な信頼を得ている。JICAの事業の影には、NHK「プロジェクトX」を何百回も制作できるくらいたくさんさんのドラマがある。



パークランズセカンダリースクールにて

JICA関係者の方々、一緒に参加した先生方、快く送り出してくれた蓬田の先生方へ感謝の言葉は言い尽くすことはできない。最後に五月女ザンビア大使と佐々木JICAザンビア事務所所長から伺ったアフリカのことわざを紹介したい。「一度アフリカの水を飲んだ者は、またアフリカに戻る。」





お知らせ

情

報

局



屋外広告物法及び青森県 屋外広告物条例の事務処 理について

屋外広告物の表示等の許可事務については、今まで県（青森土木事務所）で行っていましたが、当村に屋外広告物が存在する場合は、14年度からは当村で許可等の事務を行うことになりました。平成14年4月以降に新たに許可申請を行おうとする人や従前の許可期限が切れて再度許可申請を行おうとする人は、当村へ申請することとなります。

なお、屋外広告物業の届出関係事務は従前どおり県（青森土木事務所または都市計画課）へ届出してください。

○処理する時期

平成14年4月1日から

○当村で処理する事務

屋外広告物法及び青森県屋外広告物条例による屋外広告物の許可関係等の事務（手数料の徴収事務を含む）

○問い合わせ先

村役場総務課

☎ 27-2111

県土整備部都市計画課
☎ 017-734-9679

恩給や共済年金の 受給者のみなさまへ

国民生活金融公庫では恩給や共済年金をうけていらっしゃる方を対象に、年金を担保とする融資を取り扱っています。

制度の概要は次のとおりです。

☆ご融資額

250万円以内

（ただし年額の3年分以内）

☆お使いみち

住宅・教育・レジャーなどの資金や事業資金

☆利率

年1.2%

（平成14年1月10日現在）

☆連帯保証人

1名以上

☆担保

恩給または共済年金などの証書をお預かりいたします。

☆ご返済

ご返済金としてお客さまの恩給や共済年金などを公庫が受け取ります。

◎借入ご希望の方は、国民生活金融公庫青森支店恩給係までお問い合わせ下さい。
☎ 017-723-2331

青森りんご 1日1個で健康を！

「1日1個のりんごは医者を超ざける」といわれるように、りんごにはさまざまな効用がありますので、毎日1〜2個のりんごを食べるようにしましょう。

特に、丸かじりすると、りんごの皮に多く含まれている植物繊維を無駄なく摂取でき、健康の増進に効果的です。

また、料理に利用したり、すりおろしたりしても食物繊維の働きは変わらないので、いろいろ幅広く活用できます。



回収します！
あなたの家の古い電話帳

NTT東日本青森支店で

は、3月より順次、新しい電話帳をお届けいたします。その際、現在お使いになられている電話帳につきましては、新しい電話帳とお取り替えさせていただきますので、配達員へお渡し下さい。

NTTでは、地球環境保護として、紙資源の節減に取り組んでおり、回収した古い電話帳から新しい電話帳を作る、電話帳循環型リサイクルを行っています。

なお、配達員に渡せなかった方は後日改めて回収に伺いますので、左記の「タウンページセンター」までご連絡下さい。

ご協力をお願いいたします。

《お問い合わせ先》

タウンページセンター

フリーダイヤル

0120-506309



健康情報便

生活習慣病

予防教室開催

平成13年度生活習慣病予防教室が11月から4回シリーズで行われています。この教室では、健診で高脂血症や糖尿病の疑いが多く指摘されていることや、脳卒中の発症が多いことをふまえ、脳卒中や心臓病、糖尿病、高血圧症、高脂血症などの生活習慣病を予防するため、健診結果を生活改善に生かし、健康づくりに役立てるため始まりました。



教室の内容は、生活習慣病予防のための食事、運動にポイントを置き、医師・

社会体育インストラクター・栄養士を講師として、講演・健康食の試食を行いました。生活習慣病の予防には食習慣、運動習慣、休養、飲酒、喫煙の5つの生活習慣の改善と定期的に健診を受けることが必要です。あなたの生活習慣はいかがでしょうか。

花粉症Q&A

Q・症状は？

A・主にくしゃみ、鼻みず、鼻づまり、目のかゆみです。風邪と違う点は①鼻と目の症状が重なって起こる、②毎年同じ季節にその症状がでる、③症状は2〜3カ月と長期間にわたることです。

Q・起こる時期は？

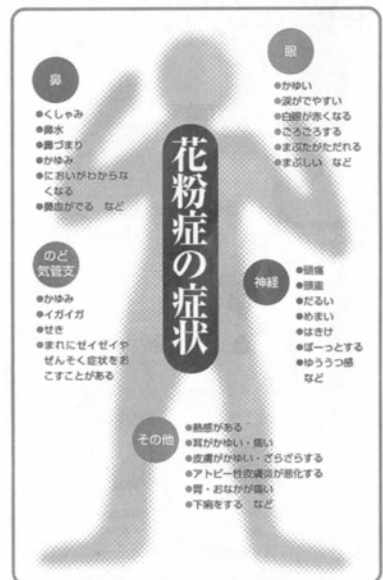
A・花粉症で最も多いスギ花粉は東北地方で、だいたい3月〜4月、村でよく見かけるイネは8月ころ、ヨモギが9月〜10月ころです。

Q・今年の花粉の量は？

A・一般的に気温が高くて、乾燥した日（湿度が低い日）が続いた夏の翌年は多くなると言われています。昨年の夏を思い出してください。飛散開始時期は1月以降に気温が高い日が続く年は花粉の飛散開始日が早いと言われています。天気予報の「花粉情報」などでチェックしてみてください。

Q・予防方法は？

A・外出時は、目と鼻をガードする。花粉症用のメガネやマスクも利用してみてください。普通のマスクにぬらしたガーゼを入れても効果的です。メガネはフレームが顔に密着する形のもの。帽子も髪



の毛に花粉がつくのを防ぐ意味でおすすです。長時間窓を開けていると、たくさん花粉が部屋に舞い込んできます。洗濯物や布団を干す場合も取り込むときにもていねいに花粉を落としましょう。

帰宅時には、玄関先で衣服や髪についた花粉を落とし、着替え、うがい、洗眼、鼻をかむ等を行ってください。

すでに花粉症と診断されている人は早めに病院へ行き、予防薬を服用すると効果的です。また、花粉症のシーズンになって症状が見られる場合は専門医への受診をお勧めします。

題「出発」

おかじょうき川柳社
八戸むさしさん



皆さん、どんどん上手になっ
ています。選んでいてうれしく
なって来ます。

川柳は、一行の詩でもあると
言われます。

言いたいと思っていることを、
その時の題に合わせて書いてく
ださい。

有名な北野岸柳さんは、川柳
の題はいつでも「生きる」であっ
て、出される題は副題だと言っ
ています。

人位 生きて行くと、楽しい思
い出も振り切って出発しなければ
いけないときがあります。自
分に素直でよい句です。

地位 駿太郎くんは独特の内面
世界を持っています。大事にし
てください。

「ああああ」をいつでも使っ
てはいけませんよ。

天位 慶仁くん、人間が機関車
であることを発見しましたね。
そうです、人はいつでも元気な
機関車でなければいけません。



イラスト 八戸有佳李さん



天位 2年 細谷慶仁くん
元気なきかんしゃだしゅっぱつしんこうだ

●佳 作 出発だ 4年1組もうおわり

- ☆人 地位 出発だきしゃがポッポないている
- ☆地 地位 出発はゆめにむかってはしるんだ
- 五 客 しゅっぱつだ春にむかってあたるのだ
- しゅっぱつだ春にむかってあたるのだ
- かなしいよ天国への出発だ
- がんばればいつでも出発できるんだ
- しゅっぱつだ春にむかってとびだそう
- しゅっぱつはおわかれのときなんだよ
- 出発日日にちをまちがえあせったよ
- みんなとはちがう人生あゆむんだ
- 出発だよくわかんないが出発だ
- 追い風が背中をおして「あっちだよ」
- サッポロにラーメン食べにしゅっぱつだ
- 出発をするならするといってくれ
- 出発へ新しいつばさひろげて
- 新しい土のにおいをふみしめる
- しゅっぱつをいやがる子供いるはずだ
- 出発だ車の中はゆうえんち
- 出発は心のなかにあるんだよ
- しゅっぱつでたのしいおもいできえてゆく
- ああああバスが出発してしまふ

6年	3年	3年	3年	6年	6年	4年	4年	3年	6年	6年	6年	4年	4年	4年	5年	5年	3年	3年	3年	5年	4年
松本	加藤	小松	青木	佐々木	久慈	田中	青木	木村	久慈	八戸	久慈	小野	高田	南崎	柿崎	小嶋	木村	青木	川内	吉田	堀田
駿太郎	千愛	唯吹	唯彩	唯愛	美佐子	美佐子	賢彩	賢太	有佳李	里美	潤美	のぞみ	春香	衣里加	暢也	賢太	美友也	太寅	麻由	潤哉	

3月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時 間	担 当
4	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
6	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	13:00	〃
〃	〃	高齢者教室	〃	10:20	社会教育課
11	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
13	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	〃
〃	〃	蓬田中学校卒業式	蓬田中学校		
18	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
19	火	蓬田幼稚園卒園式	蓬田保育所ホール		
20	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	中央公民館
〃	〃	蓬田小学校卒業式	蓬田小学校		
25	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
26	火	蓬田保育所修了式	蓬田保育所ホール		
〃	〃	日本脳炎ワクチン1回目	蓬田診療所	13:00	福祉課
27	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	中央公民館



人口と世帯数

(1月31日現在)

総人口 3,641人

男 1,729人

女 1,912人

世帯数 1,104世帯

1月受付分

お誕生おめでとうございます

- | | | |
|-------|-------|----|
| 森 健太 | (正 子) | 長男 |
| | (きみ) | |
| 稲葉 敬史 | (一 雄) | 長男 |
| | (美穂) | |
| 中村 優初 | (幸 伯) | 長女 |
| | (麻 美) | |
| 小野寺夢乃 | (和 仁) | 2女 |
| | (優加) | |
| 吉田明日香 | (誠 里) | 長女 |
| | (美 里) | |
| 能登 尊 | (秀 樹) | 長男 |
| | (美 里) | |

ご結婚おめでとうございます

- | |
|----------------|
| (張間 馨 (長 科) |
| (竹内里永子 (木 造 町) |

おくやみ申し上げます

- | |
|-------------------|
| 久慈 フミ (瀬 辺 地 93歳) |
| 森 きわ (阿弥陀川 88歳) |

編集後記

厳しい寒さも一段落して、少しづつ春めいてきました。今月は、啓蟄(6日、冬眠した虫が動き出すころ)のごとく新たなスタートに向けての準備期間です。卒業・異動・引越しと年度末の忙しい時期であります。が、新たな出発に希望を持って頑張ってください。

中学生のみなさん
除排雪ボランティアありがとう



2月2日(土)の午前中、蓬田中学校の全生徒が村内8地区(郷沢地区と宮本地区は合同)に分かれて、除排雪のボランティア活動が行われました。

この日は、各地区の民生委員の案内で、1人暮らしのお年寄りの家の周りの除排雪を行いました。

雪の降るあいにくの天気でしたが、生徒たちは寒さも忘れ汗だくになりながら雪片付けに精をだしていました。

雪片付けをしてもらった家は、これで一安心と胸をなで下ろし、深く感謝していました。

ボランティア活動大変ご苦労さまでした。



幼稚園児が役場で鬼退治

2月1日(金)、幼稚園児22人による豆まきが役場庁舎内で行われました。

村職員が鬼の面を着け、園児たちを追い回すと、園児たちは「鬼は外、福は内」の大きな掛け声とともに鬼たちに力いっぱい豆をぶつけていました。

